

彙 報

本會第三回大會 前號で豫告した通り本會第三回大會を五月十一日午後一時半よりより東京帝國大學法文經第二號館第三十六番教室に於て開催した。當日は新村・小倉正副會長共に病氣缺席のため、橋本評議員が代つて開會の辭を述べ、辻評議員の會務及び會計報告の後、引續き。

泉井久之助氏 丙南洋の言語について

松本信廣氏 南方産動植物の本邦名を通じて見たる古代文化の系統

福井久藏氏 應詞について

の有益かつ興味深い御講演があつた。會衆は約百二十名。當夜は例年の通り山上會議所に晚餐會を開き、二十三名の會員が集り、種々談の後九時頃散會した。

前號所載の會員名簿には誤植があり、他にその後會員の移動轉居などがあつたので、ここに訂正及び追加致します。

訂正

誤	正
秋吉光吉 (維)	(維) を取る。
犬島義夫1,148	1148
大村雄治.....甲賀町	伊賀町
神田佐夫	神田盾夫 (維)
北里關.....櫻塚	櫻塚元町 3 の 31
神保格	(維) を入れる。
梶井大典文典
東亞考古學會事務所	(維) を入れる。
中島健藏232262
平等通照 (維)	(維) を取る。
宮良當莊壯
羽田享亨

本會々員徳永康元・前田護郎兩君は言語學研究のため何れも戰亂のヨーロッパに滞在、勉學に没頭してゐられるが、過日小倉副會長宛次のやうな通信があつた。

御無沙汰いたしましたがお變りはございませんか。

途中恙なく二月七日にブダペストに到着いたしました。早速お知らせいたす積りで居りましたが種々の雜事に取まぎれ大變遅くなつてしまいました。(中略)

……最近まで宿所が定まりませんでしたため、落着かぬ日を送つて居りました。ドイツの交換學生も同じ事措だらうと思ひますが、ハンガリイの國內も戰時になつてからは中立國とはいふものの大分色々の點で生活が不自由になり物價が上つて居ります上、私は最初の交換學生で参りましたので(まだこちらから行く人は定つて居りません)待遇の問題が全然定つて居らず、その交渉で大分困難いたしました。やつと十日程以前から Eötvös-Kollegium (エドヴシュ・コレギウム)といふ大學の寄宿舎のやうな所に入れて貰ふことが出来、宿泊費と食事を文部省で支出して貰ふことになりました。小遣は日本から送つてもらふ國際學友會の補助費で賄つて行かねばなりませんので、こちらでしか手に入らない古い辭書類などは中々買へませんが、日本から持つて來てゐる書籍と交換してもらふつもりで居ります。又こちらではアカデミイからいい本が澤山出版されて居りますが、この方は大學に籍を置いて居ますと半額で入手出来ます

ので便利です。

大學の方は文部省と交渉いたしまして、今週から聴講することになり日本語の講師も同時に今週から始めて居ります。學生は八九人聞きに参りますがこれは今迄プレーレ教授 (Pröhle)——曾て日本に來られたことがあり、先生も御存知と思ひます——が教へて居られたので、今後はプレーレ教授と半々に教へることになりました。當分一週一回ですが大多數はやつと片假名が讀める程度なので、小學校の讀本から始めて見ました。到着早々で未だ話に馴れませんので説明するの骨が折れます。

昨日は大學の言語學の諸教授に挨拶をしてお話を伺つて参りました。ハンガリイ語學はポイシュ (Pais) 教授といふ方で「ハンガリイ語學序論」といふ講義を聞くつもりで居ります。フィン・ウゴール語學はジロイ (Zsirai) 教授で、この方は「フィン・ウゴール學概論」の大著を最近著されて居りますが、「オビ・ウゴール語」「フィンランド語」の講義を聞かせて頂くことになりました。有名なトルコ語學者のネーメト (Németh) 教授にもお目にかかりましたが、未だ案外に若い方なので驚きました。シンニエイ老教授は既に大學を退かれその後を前記ジロイ氏が引繼がれて居る譯です。尙これに就きまして、こちらの文部省では、東京の大學の卒業證明書があれば正學生にすると申しますので、それまでは假に公使館の證明書を貰つて置きましたが、なるべく早く卒業證明書が得たいと思つて居ります。

尙、私と入れちがひに當大學の助教授リゲティ (Ligeti) 氏が東京に出發されましたので、先生に御紹介する手紙を渡して置きました故、お會になりましたらよろしくお願ひいたします。同氏は蒙古語學專攻で、蒙古とアフガニスタンに數年間研究旅行をされたさうで、蒙古旅行の報告(佛文)と「アフガンの地にて」他二三種のハンガリイ文の報告を書いて居られます。今度の旅行は三井の資金で行かれるらしく、短期間の旅行に過ぎないやうですが、朝鮮蒙古にも行かれる希望があるとのことでした。

只今私の居ります所は學生の寄宿舍なので若い學生と四人同室に入れられ、食事もよくありませんので少々閉口して居りますが、こちらの事情に馴れる點では便宜もあります。殊にこの圖書室にはフィン・ウゴール關係の圖書が殆んど完備して居りますので、非常に便利で喜んでをります。今迄雜事に逐はれ怠けて居たせいで、こちらに來てみますともう一度ははじめからやり直す位の氣持にならなければいけないと感じました。この大學は他の部門は知りませんが、少くともフィン・ウゴール關係では他に類のない研究者と圖書を揃へて居りますので、やはり來てよかつたと思つて居ります。當分は教室に出て先生の話の意味をとることがやつとだらうと思ひますが、なるべく出てみるつもりで居ります。この一ヶ月で大分馴れましたので日常の用は足せるやうになりました。到着早々で未だ到底まとまつた御報告はできませんが馴れました上で又色々お知らせいたす積りで居ります。先生からもお暇の時に便りがいたゞきた

いと思ひす。今後もどうぞよろしく。

昭和十五年三月八日

徳永康元

小倉先生

Légation du Japon.

Kelenhegyi-út 42 a.,

Budapest, Hongrie

拜啓長らく御無沙汰いたしまして申譯なく存じます。

祖國の非常時が次第に深刻化して行く事を聞きますにつけ、一日も早く東洋平和の來らん事を願つてやみません。

ハイデルベルクの第二學期(昨年四月——七月)は Dibelius: Synoptische Evangelien; Erklärung schwerverständlichen Bibelstellen; Seminar (上・下兩クラス) Hölscher: Einleitung in das alte Testament; Erklärung der Psalmen; Seminar; Hommel: Erklärung von Sophoklis Aias; Haas: Homer (Odyssee); Mosella des Ausonius (ラテン)を聴き、特に Dibelius 教授の下で Epiktet u. Paulus といふ小さい論文をまとめてみました。ギリシア語のテキストを澤山譯させられました。直接に研究法を學び得た事を喜んで居ります。平和でしたので、氣候もよく、冬のやうに病氣もせずに、有意義な一學期で御座いました。

夏休みには巴里で本を集め、フランス西北部の美しい方言を勉強旁々太西洋の方を旅行いたしました。八月末には前からベルリンやライプチヒで本を集めるつもりで居りましたが、急に情勢が悪化しましたので、八月廿六日ベルリンへ行きました。汽車は超満員で避難民の悲惨な姿を見せつけられました。九月一日にはポーランド開戦となり、燈火管制が布かれましたので中立國のデンマークへ行き、若しドイツが駄目ならばコペンハーゲンで勉強しようと思つてしばらく情勢を見て居りました。しかし九月中旬ベルリン・ウィーン・ミュンヘン・イエーナ・ライプチヒの五大學だけ開かれましたので再びドイツへ歸り、ベルリンで關根正雄君と一緒に勉強いたしました。關根君は八月のごたごたの時に平和なミュンヘンに居られたので西部國境の私程情勢を悲觀されなかつたのださうです。ベルリンでは Lietzmann: Kirchengeschichte; Seminar; Synoptische Evangelien; Schwyzer: Historisch-vergleichende Syntax des Griechischen; Peek: Papyri der Ptolemäerzeit その他二つの新譯聖書の解説を聞き、Lietzmann, Schwyzer 兩教授から色々ヒントを與へられました。戦時で學期は短くなり、一年三學期制となりまして、今年一月から新學期となりました。Lietzmann の外に Rost: das alte Testament in der Kirche, Biblische Urgeschichte, Geschichte Israels; Seminar; Jensen: Die griechische Prosaliteratur im hellenistischen Zeital-

ter といふ講義に出、又 Schwyzer 教授の Sprachgeschichtliches Kollegium で文典といふものに対する立場、ギリシア語の文典の扱ひ方の實際指導を受けました。石炭不足や零下廿五度の寒さで風邪を引きましたが、とに角ベルリンでも勉強ができました。先生のおよかつた事、親切だつた事、研究室の完備してみた事は大収穫でした。ベルリンでは生活が忙しくて落着かず、皆様は御無沙汰してしまいました。

四月からは當地に移り、Bultmann: Einleitung in das neue Testament, Seminar (A. u. B.), Hans von Soden: Synoptische Evangelien; Dogmengeschichte; Textkritik; Balla: Seminar (hebr.). Hertzberg: Alttestamentliche Bibelkunde: Lieberknecht: Wiederholungskurs der hebräischen Grammatik; Krüger: Philosophie der Geschichte; Müller: Lektüre von Aristophanes Frösche に出て居ります。Bultmann 教授にはハイデルベルクの Dibelius 教授から紹介されましたので個人的に親しく指導を受けて居ります。(ベルリンでも Lietzmann 教授に Dibelius 教授から紹介されて研究室で便宜を受けました。)(中略)

情勢次第ではイタリー・ギリシアで勉強いたし、特にギリシアで Neugriechisch を實際に學びたく思つて居ります。しかし戦争が次第に地中海方面にも延びるで御座いませうし、今の所は何時行くかははつきり決めては居りません。.....(中略).....
.....色々とまとまらぬことを並べました。亂筆お許し下さい。

時候の變り目にお體お大事に。

昭和十五年五月下旬

小倉先生

草々

マールブルクにて

前田護郎

Goro Mayeda

Marburg/Lahn

Friedrichstr. 9pt.